

日本臨床麻酔学会 第45回大会への軌跡

大会長奮闘記①

皆さん、来月に迫った日本臨床麻酔学会に向けて余念がないと思います。その陰で、すでに来年の準備は始まっているのです。

日本臨床麻酔学会第45回大会の大会長に名古屋市立大学の祖父江 和哉が任命されました。

会期は **2025 年 12 月 4 日（木）から 6 日（土）** に決定。

ところが早速まさかの展開に……。

名古屋で学術集会といえば、会場として第一選択なのは名古屋国際会議場なのですが、改修工事が2025年2月から始まるということで、使用不能！ ならばと第二選択は幹事校を考慮のですが、追い打ちをかけるように大学の新棟竣工とスケジュールが重なり使えません。名古屋市内のホテルはキャパシティ不足のうえ、そのお値段にびつくり。名古屋駅近くのホールもキャパシティ不足。その不足を補うために隣の結婚式場をお願いしてみるも、結婚式優先とのこと（ソリヤソウダ）。名古屋港にあるコンベンションホールは12月しか駄目と言われ、真冬に海風が吹きすさぶ中でやるのか……。と、会場を決めることすら難航し、波乱の幕開けとなりました。

このように、学術集会の準備は波乱万丈です。大会長は次々と襲いかかる難題に直面しています。果たしてこれらの困難を乗り越え、無事に開催にこぎつけることができるのか？ 本欄で大会長の苦難の道のりを“赤裸々に”綴っていきます。これから2025年12月までを一緒に楽しんでください。

ちなみに会場は「ポートメッセなごや」（名古屋市港区金城ふ頭2丁目2番地）に決まりました（写真）。

（名古屋市立大学 上村友二）

▼写真 ポートメッセなごやでお会いしましょう

